

平成26年 7 月号

〒522-0054 彦根市西今町 923-1

Tel 0749-21-3983 Fax 21-3981

メール yamada-clinic@ gaia.eonet.ne.jp

はるのうみ介護最前線

花火の歴史

花火大会の始まる季節となりました。彦根では、7月10日前後に行われる高宮の花火大会が季節の到来です。この花火を日本で最初に見たのは、徳川家康という説があります。それまでは、花火というものは、通信手段の狼煙（のろし）に由来。これを、家康が花火鑑賞に火をつけ、花火作りが始まったとされています。「たまや〜、かぎや〜」の掛け声は、江戸時代の花火師の「玉屋」と「鍵屋」が、「両国川開き納涼花火」に参加。上流に「玉屋」、下流に「鍵屋」が担当、その両花火師への応援の掛け声だそうです。このような歴史、花火師さんへの感謝、色々な思い、を思い浮かべながら、今年も美しい花火が夜空に打ち上がるのを愛(め)でたいですね。

ちょっとリハビリ、もったりリハビリ

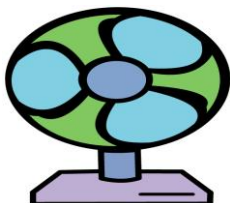
骨折の話し

高齢者は若年者と比較すると骨が弱く、転倒すると骨折につながってしまう可能性が高くなります。骨折の種類として、前方に転倒しかけて手を着いた場合「橈骨遠位端骨折」、手が出ずに肩を打った場合「上腕骨近位端骨折」、後ろに尻もちをついた場合「腰椎圧迫骨折」、側方に転倒して股関節を打った場合「大腿骨頸部骨折」、などの骨折を起こしやすいと言われています。骨折の治療は時間を要し、その間に筋力の低下を起こして、さらに転倒しやすくなる負の連鎖を招くことがあります。サンダルやスリッパなどの脱げやすい履物から靴に変えたり、眼鏡や補聴器をして情報をしっかりキャッチ出来るようにしたり、カーペットのめくれやすさや、コードを片付けることで引っかかりをなくしたり、万が一転倒しても惨事につながらないように整理整頓を心がけるなど、今すぐできる転倒予防の方法があります。是非、実践してみてください

(理学療法士)



伝言版



いよいよ夏本番となります。ご利用者様並びにご家族様にお願いです。施設におきましては窓を開閉したり、扇風機やエアコンを活用しておりますが、なにぶんリハビリが主体の施設であり、室温が若干寒く感じることもあるとおもいます。つきましては対策として、衣類を後一枚お持ち頂きますようお願いいたします。